後山協和会のあらまし

後山協和会は昭和35年（１９６０）に結成されすでに6０年余りが経過している。この間には様々なことが起こっているが、最も大きな出来事は、昭和46年（１９７１）の安佐動物公園の開園及び昭和51年（１９７６）のあさひが丘団地の完成である。

　この二大事業により後山地区の生活社会環境は大きく変化し、道路交通網の整備により、広島市への交通の利便性が向上するとともに、学校病院などの公共施設も整備された。

また、その他、後山地区を乱開発から守るため、平成16年には市街化調整区域への編入さらに、平成25年には計画的な開発を進めるために、後山地区計画が条例公布された。

最近では、令和3年に後山・筒瀬道路の岡田トンネルが開通し、可部方面への交通の便が改善された。このように、地区の生活環境は便利になっているが、住民の生活は旧態依然として将来の展望が見えない状態となっている。高齢化・少子化のため地域活動も停滞し、集落は衰退の方向で、全く活性化の動きが見られない状況である。

現在、後山協和会は人口300名余り、高齢化率約５０％、会員数120戸、世帯数１３３戸で未加入世帯が13戸となっている。

そこで、来年度から、新しい試みとして天然記念物に指定された「後山ノエドヒガン」を核として春祭りを立ち上げる計画である。地域住民の誰でも参加し交流が図られるような祭りとして定着するように出来たらよいのではないかと考えています。

具体的には、広島市の補助金「まるごと元気地域コミュニテイ活性化事業」を導入し、5年間の事業として取り組んでいく計画です。今後、実行委員会として組織を立ち上げ、検討してまいります。住民各位のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

(後山協和会会長)